PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 63·131375						
(43)Date of publication of application: 03.06.1988						
(51)Int.Cl. G11B 20/10						
(21)Application number: 61-279129 (71)Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND						
(22)Date of filing: 21.11.1986 (72)Inventor: FURUMAE HITOSHI						
(54) ROTARY HEAD TYPE RECORDING AND REPRODUCING DEVICE						

(57)Abstract:

PURPOSE: To realize a reproducing signal equivalent to an original audio signal by providing a data rate converter and a data rate inverse converter and converting a data being digitized audio signal into a data synchronously with a field period of a video signal.

CONSTITUTION: The data rate converter 11 and the data rate inverse converter 12 are provided to convert an audio data not synchronously with the field period of the video signal into the data synchronously with the field period of the video signal. Then data number information in a data frame formed with section at conversion is recorded and reproduced altogether. Thus, even if the field period of the video signal is fluctuated and a processing speed deviation is caused between the processing speed of the video signal and the digitized processing speed of the audio signal, the audio signal is digitally processed in following to the deviation and recorded to reproduce a signal equivalent to

4.3				•	-
the	oris	zınal	audio	sign	al.
uie	OLIS	zillai	auuiu	SIKI	ιa

LEGAL STATUS [Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

①特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭63 - 131375

Mint Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

④公開 昭和63年(1988)6月3日

G 11 B 20/10

A - 6733 - 5D

審査請求 未請求 発明の数 1 (全12頁)

回転ヘッド型記録再生装置 図発明の名称

> 願 昭61-279129 . ②特

願 昭61(1986)11月21日 23出

明 者 ⑫発

前 古

仁 司

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内

①出 願 松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

弁理士 中尾 敏 男 砂代 理

外1名

1、発明の名称

回転ヘッド型記録再生装置

2、特許請求の範囲

(1) 少なくとも2つのヘッドを1組とする映像用 と音声用ヘッドを1組ずつ設け、映像信号のもつ フィールド周期に同期して映像信号並びに音声信 号を記録再生する回転ヘッド型記録再生手段と、 前記映像信号のフィールト周期の整数分の1に等 しくない周期をもつ第1のクロックを発生する第 1 のクロック発生器と、前配回転へッド型記録再 生手段からの音声用の少なくとも2つのヘッドを 相互に切り換えるヘッドに切り換えパルスを入力 して、その立ち上がり並びに立ち下がりエッジを 検出して、それらのエッジの時点にパルスを出力 するエッジ検出器と、前配エッジ検出器の出力を 入力して、前記第1のクロック発生器の発振周波 数より高く、前記映像信号のフィールド周波数の 整数倍に等しい周波数をもつ第2のクロッグを発 生する第2のクロック発生器を備え、前配第1の

クロックで、入力したアナログの音声信号をパル ス符号変調するアナログ/ディジタル変換器と、 前配エッジ検出器の出力と前記第2のクロックを 入力して、前記アナログ/ディジタル変換器のデ ータ出力を第2のクロックに等しいデータレート をもち、かつ前記音声用ヘッドの切り換えの時点 を避けた配列のデータに変換するデータレート変 換器と、前記第2のクロックと前記音声用のヘッ ド切り換えパルスとを入力して前記データレート 変換器の出力をディジタル変調し、その出力を前 記回伝ヘッド型記録再生手段に設けた音声用の1 組のヘッドに入力して記録するための信号として 出力するディジタル変調器と、前配再生時に、前 記回転ヘッド型配象再生手段からの音声用のヘッ ド切り換えパルスと第2のクロックを入力して前 記音 戸用の1組のヘッドからの再生信号を前記デ ィジタル変調器と逆の処理をして前配ディジタル 変調器の入力信号と等価な信号に復調するディジ タル復調器と、前記ディジタル復調器の出力デー タの再生周期に周期が一致するクロックを発生す る第3のクロック発生器と、前配第3のクロックと前配エッジ検出器の出力を入力して、入力した前配ディジタル復調器の出力データについて、前配データレート変換器と逆の処理をするデータレート逆変換器と、前配データレート逆変換器の出力データを入力してディジタル/アナログする変換ディジタル/アナログ変換器とを備えることを特徴とする回転へット型記録再生装置。

カパルスを入力して遅延する第1の遅延器と、前 記第1の遅延器の出力をラッチクロックとし、前 記ディジタル復調器のデータ出力をデータ入力と する第2のラッチと、前記第1の遅延器の出力と 第3のクロック発生器のクロック出力と前記第2 のラッチの出力を各々、クリア入力, クロック入 カ、ブリセットデータ入力とし、クリア入力が入 力される毎にクロック入力のカウントを開始し、 プリセットデータ入力の値にカウント値を一致す るとカウントを停止する第3のカウンタと、前記 第1の遅延器の出力を入力して遅延する第2の遅 延器と、前配第3の遅延器の出力をラッチクロッ クとして前記第2のラッチのデータ出力をラッチ する第3のラッチと、前記第2の遅延器の出力と 第4のカウンタのキャリーパルス出力を入力して 位相差に比例する電圧信号を出力する位相比較器 と、前記位相比較器の出力を入力して入力電圧に 比例する周波数をもつクロックを発振する電圧制 御発振器と、前記電圧制御発振器の出力と前記第 3のラッチのデータ出力を各々、クロック入力,

方に第1のパルスを発生し、第2のパルスの後方 に第2のパルスを発生する第1のパルス発生器と、 前記第1のパルス発生器の第1のパルス出力をク リア入力とし、並びに前記第2のクロック発生器 のクロック出力をカウントする第2のカウンタと、 前記第1のカウンタのカウント出力と前記第1の クロックと前記第2のカウンタのカウント出力と 前記第2のクロックを各々、書き込みアドレス。 書き込みクロック、読みだしアドレス、読みだし クロックとして入力して、前記アナログノディジ タル変換器の出力データを書き込む第1のメモリ 回路と、前記第1のパルス発生器の第2のパルス 出力を切り換え制御パルスとして入力し、前記第 1のラッチのデータ出力と前記第1のメモリ回路 の読み出しデータ出力を切り換えて出力する第1 のセレクタとを備え、第1のセレクタの出力を前 記データレート変換器の出力とすることを特徴と する特許請求の範囲第1項記載の回転へっド型記 録再生装置。

(3) データレート逆変換器は、エッジ検出器の出

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は回転ヘッド型配録再生装置に関するものである。

従来の技術

以下図面を参照しながら、上述した従来の回転 ヘッド型記録再生装置の一例として2ヘッドの回 転ヘッド型記録再生装置について第6図,第7図 を用いて説明する。

第6図は従来の回転ヘッド型記録再生装置の構

えたがら加えて記録する。一方、前記スイッチB の出力であるヘッド切り換えパルスをエッジ検出 器40に入力して、ヘッド切り換えパルスの立ち 上がり並びに立ち下がりエッジを検出し、それら のエッジの時点にパルスを発生して、第1フィー ルドパルスとして出力する。このエッジ検出器の 第1フィールドパルス出力を通倍器25亿入力し て逓倍し、第1フィールドパルスの周波数の整数 倍の周波数を持つ第1ワードクロックを発生する。 また、第1フィールドパルスを第2のクロック発 生器28に入力して避倍し、第1ワードクロック より周波数が高く、かつ第1フィールドバルスの 周期に同期するクロックを発生し、第2ワードク ロックとして出力する。第1ワードクロックとア ナログの音声信号をアナログ/ディジタル変換器 3 に入力して、第 1 ワードクロックの周期を標本 化の時間基準としてディジタル化する。続いてア ナログ/ディジタル変換器3のデータ出力を第1 ワードクロックの周期で時間圧縮器38に入力し、 第1フィールドパルスと第2ワードクロックを用

成を示すもので、第7図は第6図の各部の各部の 信号波形を示すものである。第8図において、映 像信号のフィールド周期(第7図に示すフィール ド周期Ti、である。また第7回の入力信号1の波 形図中に示す縦線がそのフィールド周期の境界点 である。)をもつ映像信号と周期性を持たないア ナログの音声信号を同時に記録再生するという動 作をする。まず、記録したい映像信号を映像変調 器1に入力して映像記録信号を発生する。並びに 映像変調器 1 で入力した映像信号の持つフィール ド境界点を検出してそのフィールド境界点が立ち 上がり並びに立ち下がりエッジに交互に一致する パルスを発生して、回転ヘッド型記録再生手段10 のヘッドの回転基準とする第1回転基準パルスと して出力する。記録時はとの第1回転基準パルス をスイッチ8を経てモータ9に加えてヘッドを回 転し、回転位相を映像信号のフィールド周期に同 期させる。続いて映像記録信号をスイッチ36亿 加え、スイッチBの出力信号によって映像用のへ ッドであるヘッド1 a 並びにヘッド1 b に切り換

逆に再生する場合には、回転へっド型記録再生 手段10の2組のヘッドからの再生信号の再生速 度を映像復調器5の処理速度に一致させるために、 映像復調器5からヘッド切り換えタイミングを示 す回転基準パルス2を出力し、スイッチBを経て モータ9に加え、前配回転へッド型記録再生手段 10の2組のヘッドを回転させる。以上の動作に よって映像復調器5の復調処理におけるフィール

ド周期(第7図に示すフィールド周期Tfgである。 すた第7図の映像再生信号の波形図中に示す縦線 がヘッド切り換え点である。)に回転ヘッド型記 録再生手段10のヘッド1aとヘッド1bからス イッチ36を経て再生される映像再生信号の切り 換えの時点が記録時のヘッド切り換え時点に同期 し、並びに、前記回転ヘッド型記録再生手段10 のヘッド2a並びにヘッド2bからスイッチ37 を経て再生される音声再生信号の切り換えの時点 も記録時のヘッド切り換え時点に同期する。続い て、回転ヘッド型記録再生手段10のヘッド1 a 並びに1bからスイッチ36を経て再生した再生 信号を映像復調器5に入力して映像変調器1と逆 の処理をし、映像変調器1に入力した映像信号と 等価な出力を得る。他方、回転ヘッド型記録再生 手段10のヘッド2a並びにヘッド2bから再生 される音声再生信号をスイッチ37を経てディジ タル復調器6亿入力し、ディジタル変調器4と逆 の処理を行ってディジタル変調器4に入力した第 1 記録ディジタルデータと等価な再生ディジタル

のフィールド周波数の整数倍である必要がある。 即ち、音声信号の標本化周波数を映像信号のフィールド周波数の整数倍にする必要があるので、音 声信号の標本化周波数を映像信号のフィールド周 波数の整数倍に一致しない周波数とすることがで きないという欠点を有していた。

本発明は、上記欠点に鑑み、音声信号の標本化 周期が映像信号のフィールド周波数の整数倍に一 致しない場合でも映像信号に同期した音声信号の ディジタル記録再生が出来る回転ヘッド型記録再 生装置を提供するものである。

問題点を解決するための手段

上記問題点を解決するために本発明の回転へット型記録再生装置は、少なくとも2つのヘッドを1組ずつ設け、映像信号のもつフィールト周期に同期して映像信号並びに音声信号を記録再生する回転へット型記録再生手段と、前記映像信号のフィールト周期の整数分の1に等しくない周期をもつ第1のクロックを発生する第1のクロックを発生する第1のク

データに復調する。この再生ディジタルデータを 第3のクロック発生器27に入力してそのデータ の周期に同期するクロックを発生して、第1フィー ルドパルスと第3ワードクロックを助けて、第1フィー ルドパルスと第3ワードクロックを助けータと に入力してディジタル復調器6の出力データを る再生ディジタルで る再生ディジタルデータを第1フィーアングに るの周期に一致する長さまで伸長し、アナーグ信号 を出力する。続いて、この音声データ信号をディ ジタルグを換器3のに入力して をリカする。続いて、との音声データ信号をディ ジタルグで換器3に入力した音声信号と等価な 出力を得る。

発明が解決しようとする問題点

しかしながら、上記のような構成では、回転へッド型記録再生手段10において、入力した音声データ信号を、音声用ヘッドの切り換え時点を避けてフィールド周期内に整数個ずつ配列するという処理を行う必要があるため、アナログ/ディジタル変換器3の出力データの入力速度は映像信号

ロック発生器と、前記回伝ヘッド型記録再生手段 からの音声用の少なくとも2つのヘッドを相互に 切り換えるヘッド切り換えパルスを入力して、そ の立ち上がり並びに立ち下がりエッジを検出して、 それらのエッジの時点にパルスを出力するエッジ 検出器と、前記エッジ検出器の出力を入力して、 前配第1のクロック発生器の発振周波数より高く、 前記映像信号のフィールド周波数の整数倍に等し い周波数をもつ第2のクロックを発生する第2の クロック発生器と、前配第1のクロックで、入力 したアナログの音声信号をパルス符号変調するア ナログ/ディジタル変換器と、前記エッジ検出器 の出力と前記第2のクロックを入力して、前記ア ナログ/ディジタル変換器のデータ出力を第2の クロックに等しいデータレートをもち、かつ前記 音声用ヘッドの切り換えの時点を避けた配列のデ ータに変換するデータレート変換器と、前記第2 のクロックと前記音声用のヘッド切り換えパルス とを入力して前記データレート変換器の出力をデ ィジタル変調し、その出力を前記回転ヘッド型記

録再生手段に設けた音声用の1組のヘッドに入力 して記録するための信号として出力するディジタ ル変調器と、前記再生時に、前記回転ヘッド型記 録再生手段からの音声用のヘッド切り換えパルス と第2のクロックを入力して前記音声用の1組の ヘッドからの再生信号を前記ディジタル変調器と 逆の処理をして前記ディジタル変調器の入力信号 と等価な信号に復調するディジタル復調器と、前 記ディジタル復調器の出力データの再生周期に周 期が一致するクロックを発生する第3のクロック 発生器と、前記第3のクロックと前記エッジ検出 器の出力を入力して、入力した前記ディジタル復 調器の出力データについて、前記データレート変 换器と逆の処理をするデータレート逆変換器と、 前記データレート逆変換器の出力データを入力し てディジタル/アナログする変換ディジタル/ア ナログ変換器とを備えた構成となっている。

作 用

本発明は上述した構成によって、音声信号の標本化周波数が映像信号のフィールト周波数の整数

ディッタル/アナログ変換することにより元の音 申信号と等価な再生信号を再現することが出来る こととなる。

矩 施 例

以下本発明の一実施例の回転ヘッド型記録再生 装置について図面を参照しながら説明する。

第1 図は本発明の一実施例の回転へッド型記録 再生装置の構成を、第2 図は第1 図に示すデータ レート変換器11 の詳細な構成を示すものである。 また第3 図は第1 図に示すデータレート逆変換器 12 の詳細な構成を示すものである。

第1 図において、1 は配録したい映像信号を入力して低搬送波周波数変調などの変調を施して映像記録信号を出力し、映像記録信号を回転・ングを型記録再生手段のヘッド切り換えのタイミングを示す回転基準パルスェを出力する映像変数倍に等しは映像信号のフィールド周波数の整数倍に等したの周波数をもつワードクロックトを発生サイクロックトを標本化の時間基準として入力し、アナロックトを標本化の時間基準として入力し、アナロ

倍に一致しない周波数をもつクロックを原本化グ ロックをクロック発生器で発生し、その標本化ク ロックを用いて音声信号をアナログ/ディジタル 変換し、アナログ/ディジタル変換したデータ出 力をデータレート変換器に入力して、映像信号の フィールド周期毎に映像信号のフィールド周期に 最も近接する標本点の間で区切って音声用ヘッド の切り換えに同期するデータに変換し、かつ変換 時の書式を示す情報としてデータワード数の値を ヘッド切り換え毎に音声信号データに付加し、映 像の記録信号と一緒に同期して記録する。逆に再 生時は、音声用ヘッドから再生される信号をディ ジタル復調器で復調した後、データレート逆変換 器に入力して音声データと一緒に出力されてくる 記録時に付加したデータワード数の値から平均周 放数が元の標本化周波数に一致し、かつ周期的に 連続したクロックを再発生して、フィールド周期 毎に間欠的に再生される音声データから音声デー タだけを抜き出して周期的に連続するデータに再 変換し、ディジタル/アナログ変換器に入力して

1 1 はアナログ/ディジタル変換器3から出力された記録ディジタルデータでと、第1のクロック発生器2からのワードクロック b と、エッジ検出器40の出力であるフィールドベルスa と第1のクロック発生器2からのワードクロック b とと第1のクロック発生器2からのワードクロック b とをディジタルデータでをワードクロック b の周期でも つ に録ディジタルデータ c として出力するデータレート 記録変換

器であり、第2図に示すデータレート変換器の構 成をもつものである。4は記録ディジタルデータ uを入力してディジタル変調し、音声記録信号と して出力するディジタル変調器である。8は回転 基準パルスェと回転基準パルスXを入力して記録 時は回転基準パルスェを、再生時は回転基準パル スXを切り換えて出力するスイッチであり、9は スイッチ8の出力を入力して同期回転するモータ であり、36は記録時は映像変調器1の出力をス イッチ8の出力であるヘッド切り換えパルスによ ってヘッド1aとヘッド1bに切り換え出力し、 再生時はヘッド1aとヘッド1bの出力信号をス イッチ8の出力であるヘッド切り換えパルスによ って切り換え出力するスイッチであり、37は記 録時はディジタル変調器4の出力をスイッチ8の 出力であるヘッド切り換えパルスによってヘッド 2 a とヘッド2 b に切り換え出力し、再生時はヘ ッド2aとヘッド2bの出力信号をスイッチ8の 出力であるヘッド切り換えパルスによって切り換 え出力するスイッチである。

信号を入力してディジタル変調器4と逆の処理の復調して、再生ディジタルデータUを出力するディジタル復調器である。27はディジタル復調器の出力である再生ディジタルデータUを入力して再生ディジタルデータUの周期に同期するクロックを発生して、ワードクロックNとして出力する第3のクロック発生器である。

12はエッジ検出器 4 O の出力であるフィールドバルス a と第 3 クロック発生器 2 T の出力であるフィール るワードクロック N を入力してワードクロック N に同期して間欠的に入力される再生ディジタルデータ U を入力し、周期的に連続する再生ディジタルデータ C に逆変換するというデータレート変換器 1 1 と逆の処理をするデータレート逆変換器であり、第 3 図に示すデータレート逆変換器 1 2 の 構成をもつものである。

7は再生ディジタルデータCを入力して元の音 声信号と等価な音声信号を出力するディジタル/7 ナログ変換器である。

第2図において、13はタイミング修正器の出

1.0は映像用並びに音声用の2組のヘッド(ヘ y 1 1 a , ~ y 1 1 b , ~ y 1 2 a , ~ y 1 2 b) を持ち、モータ9によってこれら2組のヘッドを 回転させて、映像記録信号をスイッチ38を経て ヘッド1a.ヘッド1bに加えて記録すると同時 に、音声記録信号をスイッチ37を経てヘッド2a, ヘッド2bに加えて記録し、またヘッド1a.ヘ ッド1 b からの映像再生信号をスイッチ36を経 て1つの再生信号として出力し、並びにヘッド24, ヘッド2bからの音声再生信号をスイッチ37を 経て1つの信号として出力する回転へッド型記録 再生手段である。 5 は回転ヘッド型記録再生手段 1 口からの再生信号の再生速度の基準とする回転 基準パルスXを出力して、回転ヘッド型記録再生 手段10のヘッド1 a 並びに1 b からスイッチ36 を経て再生された映像再生信号を入力して映像変 調器1と逆の処理を行って、元の映像信号と等価 な映像信号を出力する映像復調器であり、 6 は回 転ヘッド型記録再生手段10のヘッド2 a 並びに 2bからスイッチ37を経て再生された音声再生

力とワードクロックトを各々、クリア入力, カウ ントクロック入力として入力する第1のカウンタ であり、14は第1のカウンタ13の出力と第1 のシフトレジスタ15の出力を各々、データ入力. ラッチクロック入力として入力する第1のラッチ であり、シフトレジスタ1日は第1図のエッジ検 出器40の出力であるフィールドパルスェとワー ドクロックbを入力してクリアパルスdを出力す る第1のシフトレジスタであり、18は記録ディ ジタルデータロとワードクロック b と第 1 のカウ ンタ13のカウント出力と第2のカウンタ17の カウント出力とワードクロックロを各々、書き込 みアドレス、書き込みクロック、読みだしアドレ ス、読みだしクロックとして入力して時間軸変換 データを読みだし出力とする第1のメモリ回路で あり、17はワードクロックロと第1のパルス発 生器19からの第2のパルス出力であるクリアパ ルス皿とを各々、カウントクロック、クリアパル スとして入力する第2のカウンタであり、18は 第1のパルス発生器19からの第1のパルス出力

である切り換えパルスを切り換え制御パルスとして入力し、2つのデータ入力として第1のメモリ回路16の出力である時間軸変換データと記録ワード数データとを切り換えて出力する第2のセレクタであり、10はフィールドパルス aを入力して、第1のパルス出力として切り換えパルスを、さらに第2のパルス出力としてクリアパルスエを出力する第1のパルス発生器である。

第3図において、28は第1図のエッジ検出器 4 0 の出力であるフィールドパルス A を入力して 遅延 し、フィールドパルス M として出力する第2 の であり、20は第2の母延器28の出し であるフィールドパルス M をラッチクロックとしてスカータ U の中から再生ワード数 データを チャッチ 2 0 の出力とフィールドグルス M とワードクロッチ 2 0 の出力とフィールドグルス カウッチ クロックとして入力する第3の フィール 数 入力 ナック アパルス クロック であり、2 2 は 再生ディジタルデータ U と第3の

3 O は位相比較器 3 1 の出力を入力して入力電圧 に比例する周波数をもつクロックを発振し、ワー ドクロック B として出力する電圧制御発振器であ る。

以上のように構成された回転ヘッド型配録再生 装置について、以下第4図、第5図を用いてその 動作を説明する。

まず第4図は第1図の各部のa, b, c, d…
いと記号を付した信号の波形図を示すものでとこのは第1図の各部のA, B, C, D……と記号を付した信号の波形図を示すものである。第1図にかけて、第1のクロック発生器2から映像なりにかいて、第1のクロック発生器2から映像なりのもつフィールド周波数の作りロックを優本化の時4図というを優本化の時4図とでディジタル化し、第4図に示す記録ディジタルでディジタルに表すがある。 続いて記録ディジタルできる。 続いて記録ディジタルをデータロードクロックとフィールドバルス。 他をデータレート変換器11に入力する。他

カウンタ21のカウント出力とワードクロック3 並びに第4のカウンタ23のカウント出力と電圧 制御発振器30の出力であるワードクロックBと を各々、書き込みデータ入力,書き込みアドレス, 書き込みクロック, 腕みだしアドレス, 腕みだし クロックとして入力して再生ディジタルデータC を読みだし出力とする第2のメモリ回路であり、 35は第2の遅延器28の出力であるフィールド パルスMを入力して遅延し、フィールドパルス2 として出力する第3の遅延器であり、29はフィ ールドパルス2をラッチクロックとして入力し、 第2のラッチ20のデータ出力をデータ入力とし ラッチする第3のラッチであり、23は第2のラ ッチ20の出力をカウント数入力として入力し、 電圧制御発振器30の出力であるワードクロック Bをカウント入力として連続的にカウントする第 4のカウンタであり、31は第4のカウンタ23 のキャリーパルス出力と第3の遅延器35の出力 であるフィールドパルス2とを入力して位相差に 比例する電圧信号を出力する位相比較器であり、

像変調器 1 からの回転基準パルスェをスイッチ 8 を経てエッジ検出器 4 O に入力して、回転基準パルスェの立ち上がり並びに立ち下がりエッジを検出しそのエッジの時点にパルスを発生して第 4 図 a に示すフィールドパルス a を出力する。 説いて、エッジ検出器 4 O の出力であるフィールドパルス a を第 2 のクロック発生器 2 6 に入力して周波数 題倍し、フィールドパルス a のエッジが同期する 第 4 図に示すワードクロック a を発生する。

第1 図に示すデータレート変換器 1 1 の詳細な 動作について第2 図を用いて説明する。

まず、フィールドバルス a を第1のシフトレジスタ15に入力して、第4回に示すようにフィールドバルス a の直後の位置のワードクロック b がある時点にクリアバルス e を発生する。 このクリアバルス e の発生ごとに第1のカウンタ13をクリアし、ワードクロック b を第1のカウンタ13 でカウントする。第1のカウンタ13のカウントはカを第1のラッチ14にデータ入力し、クリアバルス e をラッチクロックとして第1のカウンタ

1 3 がクリアパルス e でクリアされる e 前のカウント 値を f ラッチする。 第 1 の f

ひにヘッド切り換えパルスとする第5図に示す回 転基準パルスXを映像復調器5で発生し、スイッ チ8を経てモータ9に加えて映像復調器5の処理 速度に回転ヘッド型記録再生手段10に設けた2 組のヘッドの回転を同期させ、ヘッド1 a 及び1b から再生された第5図に示す映像再生信号wを映 像復調器5に入力し、映像変調器1に入力した映 像信号と等価な映像信号出力を得る。並びに、回 転ヘッド型記録再生手段10亿設けたヘッド2a 及び2bから再生された音声再生信号をディジタ ル復調器6に入力してディジタル変調器4と逆の 処理を行いディジタル変調器4の入力信号と等価 た波形の再生ディジタルデータUとして出力する。 さらに、この再生ディジタルデータリを第3のク ロック発生器27亿入力して、再生ディジタルデ - ダUに同期するクロックを発生し、第6図に示 オワードクロックNとして出力する。続いて、再 生ディジタルデータUとワードクロックNとフィ ールドパルスaとをデータレート逆変換器12に 入力する。

引続き第1図に戻って説明する。続いて、データレート変換器11のデータ出力である記録ディジタルデータ uをディジタル変調器4に入力して、第4図に示す音声記録信号wを形成し、回転ヘット型記録再生手段10に設けた音声用の2つのヘット2a及び2bに入力して記録する。

逆に再生する場合は、回転ヘッド型配録再生手 段10に設けた2組のヘッドの回転の時間基準並

第1図中のデータレート逆変換器12について 第3図を用いて説明する。

まず、第6図の再生ディジタルデータリの波形 図に示すように、再生ディジタルデータUの中に あるワード数データ(第5図の再生ディジタルデ - タ Uの中のハッチングをした部分)を検出する ために、フィールドパルスAを第2の遅延器2B に入力して、フィールドパルスAを第5図のフィ ールドパルスMに示す時点、即ち、同図の再生デ ィジタルデータU中のワード数データVが位置す る時点まで遅延してフィールドパルスMとする。 との第2の遅延器28の出力のフィールドパルス Mを第2のラッチ2〇にラッチクロックとして入 カし、第2のラッチ20のデータ入力に再生ディ ジタルデータひを入力してワード数データ♥をラ ッチする。続いて、第2のラッチ20の出力をカ ウント数として第3のカウンタ21に入力し、フ ィールドパルスMとワードクロックNを各々、第 3のカウンタ21のクリア入力並びにカウントク ロック入力として入力して、第5図の再生ディジ タルデータ U のワード数データ以後に続く音声データ (第5 図の再生ディジタルデータ U の n。個, n。+1 個, n。 個, n。-1 個…… と付したデータ部分) に同期した第5 図に示す再生書き込みアドレスO を第3 図のカウンタ 21 の出力として発生する。

タルデータUを書き込み、第4のカウンタ23の出力とワードクロック8を各々、読みだしアドレス並びに読みだしクロックとして第2のメモリ回路22に入力してデータを読みだして出力する。第2のメモリ回路22から読み出されるデータはワードクロック8に同期した周期的に連続なデータとなり、第5図に示す再生ディジタルデータCとなる。

引き続いて、第1図に戻って説明する。以上のようにデータレート逆変換器12から出力された再生ディジタルデータCをディジタル/アナログ変換器7に入力してディジタル/アナログ変換し、元の音声信号と等価な再生出力を得る。

以上のように、本実施例によれば、第1のクロック発生器2を単独に設けて、映像信号のフィールド周波数の整数倍に等しくない周波数をもつ第1のクロックを発生し、このクロックを音声信号のアナログ/ディジタル変換における標本化の時間基準として使用して、音声信号をアナログ/デジタル変換し、その変換出力である音声データ

ロックBを発生する。このワードクロックBを第 4のカウンタ23にカウントクロックとして入力 し、さらに第3のラッチ2Bの出力をカウント数 として入力して、入力したカウント数の値に相当 する回数のクロックカウントを繰り返して周期的 に連続するカウントをする。また同時に第4のカ ウンタ23は第3のラッチ29の出力値に等しい カウントを繰り返し毎に第5回に示すキャリーパ ルスBをカウント終了時点に発生し出力する。

以上のように動作する第4のカウンタ23と位相比較器31と電圧制御発振器30との構成によって、再生されたワード数データの時系列値の時系列値の時間平均値を周波数にもつワードクロックBが発生され、ワードクロックBの周波数は第1のクロック発生器2で発生したワードクロックトの周波数とほぼ等しくなる。続いて、第3のカウンタ21の出力とワードクロックトを各々、移き込みフドレスと書き込みクロックとして第2のメモリ回路22に入力し、第2のメモリ回路22、のデータ入力に入力した第5図に示す事生で

信号は、第4図の記録ディジタルデータοに示す よりに映像信号のもつフィールド周期(第4図の フィールドパルスaの周期Tf。)に同期していな いので、データレート変換器11に入力して、映 像信号のフィールドパルス1 の周期に最も近い音 **声データのワードの境界点で区切り、新たなデー** タのまとまり(以下データフレームと称す)を作 ると同時に、データフレーム毎にそのデータフレ ーム内のデータのワード数を示す情報としてワー ド数データを先頭にしてその後ろにそのワード数 データの値に相当する音声データを並べ、かつフ ィールドパルスaの整数倍でワードクロックbよ り高い周波数をもつ第2のクロックの周期にデー タのワード周期を合わせたデータに変換する。従 って、データレート変換器11の出力データは映 像信号を同期記録している回転ヘッド型記録再生 手段1 O に 設けた 音声用の 2 つの ヘッドの 切り 換 えに位相が合っているので、ディジタル記録処理 器にデータレート変換器11の出力データを入力 して音声の記録信号に変換して映像信号と音声信 号を同時に記録する。

また逆に音声信号を再生する場合は、映像の再 生信号と同期して再生される音声の再生信号を従 来例と同様に復期してデータレート変換器11の 出力データ信号と同一の時間配列をもつデータに 再生した後に、データレート逆変換器12に入力 して、フィールド周期毎に再生されるデータに付 加されているワード数データを検出して、その値 から周期的に連続する第4のクロックを発生して フィールド周期毎に再生されてくる音声データを 第4クロックの周期にワード周期を合わせた周期 的に連続なデータに逆変換し、このデータレート 変換器11の出力データをディジタル/アナログ 変換器でに入力して元の音声信号が再生できる。 以上のようにデータレート変換器11とデータレ ート逆変換器 1 2 を設けることにより、音声信号 をディジタル化したデータを映像信号のフィール ド周期に同期するデータに変換して記録し再生時 に逆変換するととで映像信号の記録再生と音声信 号のディジタル記録再生することができる。

第1図に示す各部の信号波形図、第6図は従来の回転へット型記録再生装置のプロック図、第7図の各部の信号波形図である。

1 ……映像変調器、2 ……第1 のクロック発生 器、3……アナログ/ディジタル変換器、4…… ディジタル変調器、5……映像復調器、6……デ ィジタル復調器、て……ディジタル/アナログ変 換器、8……スイッチ、9……モータ、10…… 回転ヘッド型記録再生手段、11……データレー ト変換器、12……データレート逆変換器、13 ……第1のカウンタ、14……第1のラッチ、15 ……第1のシフトレジスタ、16……第1のメモ リ回路、1 7……第2のカウンタ、1 8……第1 のセレクタ、19……第1のパルス発生器、20 ……第2のラッチ、21……第3のカウンタ、22 ……第2のメモリ回路、23……第4のカウンタ、 24……フェイズロックドループ型発振器、26 ……第2のクロック発生器、27……第3のクロ ック発生器、28……第2の遅延器、29……第 3のラッチ、30……電圧制御発振器、31……

発明の効果

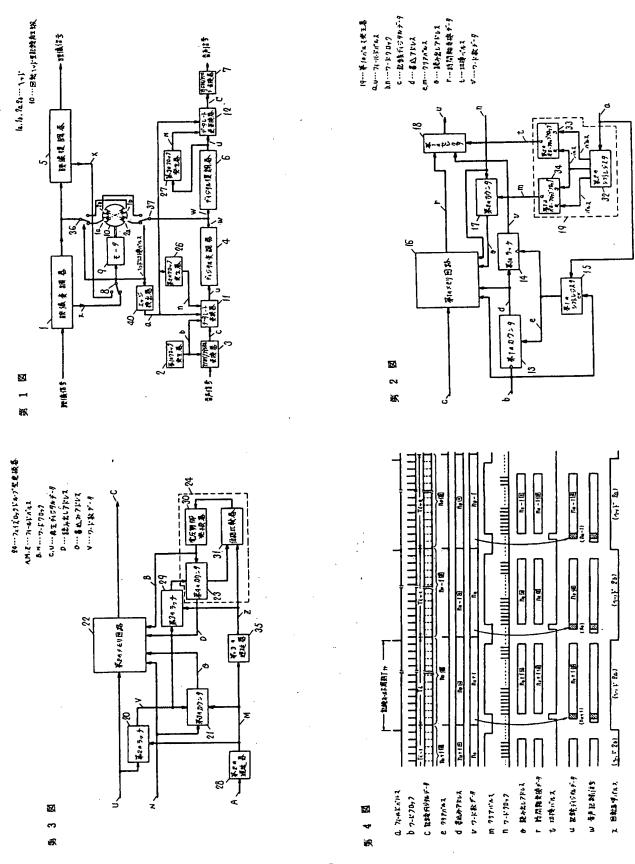
以上のように本発明は、データレート変換器並びにデータレート逆変換器を設けて映像信号のフィールド周期に同期しない音声データに変換でつって、変換時に区切りを入れて形成にしたがの時に、変換時に区切りを入れて形成にしたがの時に、変換時に区切りを大なにしたのかのデータ数情報を一緒に記録とうの時の処理速度と音声に受けるとに追びして音声に発して音声に発し、元の音声に見います。

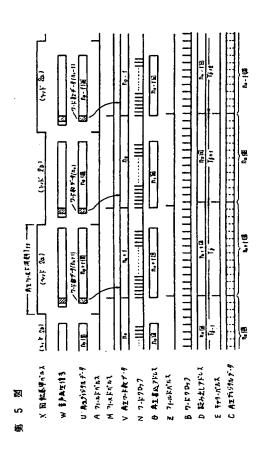
4、図面の簡単な説明

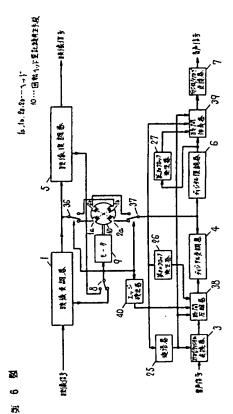
第1図は本発明の一実施例における回転ヘッド型記録再生装置の構成を示すプロック図、第2図は同本実施例のデータレート変換器の詳細な構成を示すプロック図、第3図は同実施例のデータレート逆変換器の詳細な構成を示すプロック図、第4図は第1図に示す各部の信号波形図、第5図は

位相比較器、32……第2のシフトレジスタ、33 ……第2のRSーフリップフロップ、34……第 1のRSーフリップフロップ、35……第3の遅 延器、36……スイッチ、37……スイッチ。

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名







ex 7 50

